

平成30年度 第1回加西市立図書館協議会 議事録

日 時 平成30年6月25日（月） 15:00～16:30

場 所 アスティアかさい3階 会議室

出席者 委員8名：安富均、周夕美、山端一男、中安恵子、丸岡玉代、深田英世、
小林俊広、野崎淑子

教委・図書館3名：高橋教育長、菅野館長、伊藤館長補佐

欠席者 松尾弥生、岡章雄

1. 開会 伊藤館長補佐が開会を伝えた。（15:00）

2. あいさつ

会長あいさつ

- ・教育長が退任されると聞いた。加西市の教育行政及び図書館の蔵書数増に尽力いただいた。残念である。
- ・4月に図書館職員も異動があったが、現状を継続してがんばってほしい。
- ・加西市立図書館の良いところは、次の3つである。
 - ① 図書館システムが便利になった。携帯電話等WEBで継続貸出や予約ができる。
 - ② 現図書館になってから開館日数が増えた。
 - ③ 図書館協議会での意見が反映されている。

教育長あいさつ

- ・任期満了で7月18日に退任する。
- ・市も教育の重要性、読書の重要性がわかってくれた。図書費を充実させている。
- ・昨年4月よりブックスタート事業（1歳半健診で図書館推薦本を2冊配付）も始まり、絵本に親しむということで読書への流れができた。
- ・全国学力・学習状況調査では、市内各中学校が全国トップクラスの成績を収め、読書が好きになったという割合が、昨年より10ポイント伸びた。また、全国平均より7～8ポイント上回ってきた。このことから読書が学力と相関関係があり、読書の重要性が示せた。これからは図書館も予算的に厳しくなってくるため、協議会委員の方々には後押しをお願いしたい。
- ・加西市の図書館利用率は全国的には良いのだが、全国1位の小野市・加東市が近隣にあるため、目立ちにくい。
- ・スタッフは良くがんばってくれている。雇用環境を改善できるように考えたい。

3. 議事

伊藤館長補佐から、これからの議事の進行を小林会長に依頼した。

（1）平成29年度図書館実績報告について（菅野館長説明）

委員：加西市立図書館が、人口5万人未満で全国5位とあるが、分母は何か。

事務局：人口4万人以上5万人未満の自治体が75ある。その中で5位である。

委員：加西市立図書館への来館者数のグラフが毎年、上がったりがったり下がりたりを繰り返しているが、なぜか。

事務局：22万人～23万5千人のメモリの中でグラフのきざみが5千人ごとなので、増加減少が目立つが、数値としては、それほど増減はない。

委員：平成25年には50%あった市内登録率が、平成26年には28%に下がったのはなぜか。

事務局：図書館カードの長期未利用者データを削除していなかったが、5年以上図書館カードを利用していない方のデータを削除したため、登録率が下がった。

委員：図書館システムのWEB予約ができるように、パスワードを登録している人はどれくらいいるのか。

事務局：4,140人である。

委員：登録者数が約18,000人のうちの、4,140人ということですね。

事務局：そうです。

委員：WEB予約の使えない時間帯はあるのか。

事務局：夜中の3時頃サーバを再起動するため、少し使えない時間帯があるが、それ以外は使ってもらえる。

委員：図書資料をリクエストするときはネットからではできないですね。

事務局：そうです。リクエストの場合は、来館していただく必要がある。予約の場合は、当図書館が所蔵している資料であるため、貸出可能だが、リクエストは当館にない資料に対しての要望であるため、貸出できる確約ができない。そのため、WEB上ではなく、実際にお会いして説明させていただく必要がある。

委員：リクエストされた図書資料にも順番があるのか。発売前の本に対して、何人もの方がリクエストをする場合など。

事務局：同一資料に多数のリクエストがあった場合には、順番待ちの可能性はある。

委員：平成15年の開館以来、前年に比べて増加しているときもあるが、来館者数は相対的に減ってきている。その傾向はわかるか。

事務局：オープン当初は、コープもあり、新しいということで賑わっていた。近年は、近隣に新しくオープンした図書館もあり、そちらに流れていることもある。

また、一度に貸し出せる資料数を増やし、貸出日数を長くしたことにより来館回数が減った。さらにWEB上で資料の継続貸出が可能になり、来館しなくてよくなった。利用者にとって便利になったことで、来館者数としては減少に繋がっている。

(2) 平成30年度図書館事業計画について（菅野館長説明）

委員：平成30年度図書館事業の目玉は何か。

事務局：4月～5月にかけての「子どもの読書週間イベント」において、ヘンゼルとグレーテルのお菓子の家を段ボールで作った。小さな子どもが中に入れるくらい大きな家だった。

委員：昨年度から継続している事業、強化しようとしている事業、減らそうと思っている事業は何か。

事務局：イベントや講座を増やすことで来館者数増を図る。学校連携にも、なお一層力を入れていく。

委員：図書館利用者からの要望を聞くアンケート（こういうことに力を入れてほしい、こうしてほしい等。）をとってはどうか。

事務局：図書館内に利用者から声を聞くアンケート箱を設置したい。

委員：夏休みが近づいてきて、子どもの宿題に読書感想文がある。参考にする本を図書館で探す、課題図書は全部貸し出されていることが多い。課題図書は貸出期間が1週間なので、回ってくる順番は早そうではあるが、課題図書は何冊ずつ図書館では購入しているのか。

事務局：2冊程度である。

委員：読書感想文に向けて、課題図書に限らず、おすすめ本を紹介してほしい。

委員：読書感想文に関する講演会があれば助かる。

委員：中学生の読書郵便が展示されているときがあるが、あれはよくできている。子ども達が本を読むきっかけになっている。

委員：昨年、子どもの読書週間イベントで、ロングセラー絵本の展示があったが、閉架書庫の本をもっと来館者に見える場所に展示してほしい。

事務局：今年も、子どもの読書週間イベントで、童話のロングセラー絵本を展示した。また、来年もテーマを決めてロングセラー本を展示したい。

委員：閉架書庫に入っている本は、利用が少ないとか貸出数が少ない、または汚れている本なのか。

事務局：年数が経っている本になるが、開架書庫の所蔵容量が決まっているため、新しい本を排架するためには、同じだけ、閉架書庫に移動せざるを得ない。特集を組むことで、閉架書庫の本も来館者の手に取ってもらえるようにしたい。

委員：子ども向けのイベントが多いが、年配者向けの催しは無いのか。

事務局：年配者向けに特化したものではないが、毎月、テーマを決めて大人向けの特集を実施している。

事務局：新聞・雑誌コーナーには、毎日多くの方が来館されている。

委員：60歳以上の利用者が31.2%を占めている。

委員：昨年、図書館まつりで、「子どもと大人のためのおはなし会」を開催した。いつも子ども向けにおはなし会を実施しているが、普段来られない年配の方もたくさん聞きに来られた。普段来館されない方を呼び込むきっかけになればと思う。今年の図書館まつりでも行う予定である。

(5) その他

委員：加西市立図書館では学習机は足りているのか。「図書館にもっと勉強に来ませんか。」という呼び込みはしないのか。他の自治体では、「図書館に勉強に来ましょう。」と言っているところもある。

事務局：試験前などは、朝から多くの学生の来館がある。昨年、キャレル（一人用の机）を数台購入したが、大々的に「勉強しに来てください。」とまでは言えない。試験前は、現在で

も机は埋まっているように思われる。

委員：勉強のためにやってくる学生をもっと多く受け入れるだけの余裕があるのなら、大々的にPRしたらどうか。

事務局：当図書館は学習室という個別の部屋がないため、一度に多くの学生を受け入れられない。勉強してはダメとは言っていないが、「どんどん図書館に勉強に来て。」とまでは言えない。

委員：中学校に本を100冊ずつ、持ち回りで貸し出されているが、どれくらいの頻度でされているのか。

事務局：各学期に1回、託送させてもらっている。市内の4中学校で順に廻している。

委員：小学校も実施しているのか。

事務局：小学校と特別支援学校は実施していない。小学校や特別支援学校へは、依頼があれば、授業に使用するために、テーマを決めて何十冊という単位で本を貸し出している。

委員：小学校は昼休みに時間があるので、その時に本を貸し出してほしい。

事務局：本は学校に預けておくのか、それとも、回収してよいのか。

委員：昼休みだけでそのあとは持って帰ってもらったらよい。

事務局：何日か学校に預けておいても大丈夫か。

委員：小学校の図書館担当者会では、そのような意見は出なかったのか。主催は学校と図書館のどちらなのか。

委員：学校主催である。

事務局：以前、やっていたこともあったが、学校数も多く、人手が足りないため中止になった。

委員：読み聞かせボランティア養成講座、またはそれに類する講座を開催してほしい。いろいろな本を紹介してもらったり、読み聞かせについての話を聞かせてもらえる場があればいいな。と思う。

事務局：秋に講演会を予定している。内容は現在検討中だが、参加していただきたい。

委員：夏休みキッズイベント「図書館お仕事体験」の募集人数が6名だが、応募者は多いのか。また、参加者はどんな感想を持ったのか知りたい。応募者が多いようであれば、夏休みに限らず、年に何回か実施すればどうか。これくらいの年齢の子どもが、体験学習をすることは、いつもと違った立場の目線から見ることができ、とても良い経験になると思う。

事務局：昨年も同時期に午前・午後各回3名の計6名で実施した。それぞれの子どもに図書館スタッフが付き添うので、この人数が精一杯である。年に複数回の実施は、図書館スタッフの負担が大きいためできない。お仕事体験での感想はないが、中学生のトライやる・ウィークの感想はもらっている。概ね好評である。

事務局：今年が目玉として、ふるさと納税を活用し、図書消毒機を導入予定である。

また、5月に実施したのだが、加西市立図書館では初めての試みで「ぬいぐるみのお泊り会」を実施した。

4. 連絡事項

次回開催は、平成31年3月下旬の予定で了承を得た。

5. 閉会 中安副会長が閉会の挨拶をした。

- ・私は、「かさい・えほんの森」でボランティアをさせてもらっているが、毎週土曜日に図書館で読み聞かせを行っている。参加した子ども達に、図書館スタッフが、シールを貼ってあげたり、シールが集まったらごほうびをあげたり、また、子ども達が喜ぶ掲示物を飾ったり、図書館は心地よい空間になっていると思う。
- ・近隣の図書館めぐりをしているが、そこで加西市立図書館の良さを発見したりする。図書館スタッフはスムーズに対応してくれる。インターネット上での図書の検索も便利だが、実際に図書館に来て、図書館スタッフと直接関わることを図書館の醍醐味にしている。そういう点でも加西市立図書館で丁寧に対応してもらい、すばらしさを感じている。
- ・キッズの上足コーナーで、赤ちゃんのおむつ交換をしているお母さんがいた。図書館スタッフも忙しいと思うが、お母さんの声の届くところにいてほしい。

(16:30 終了)